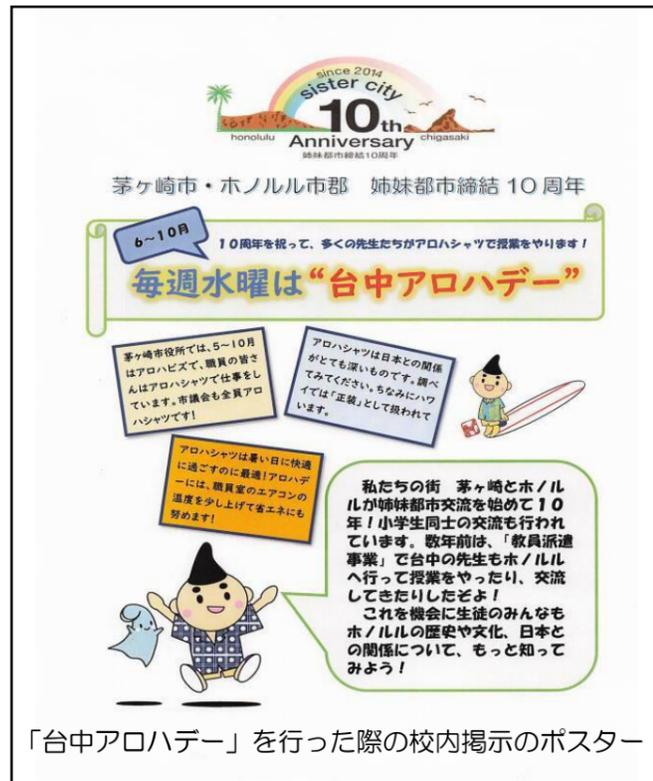


■今年度の活動内容設定時に参考とした「他校の環境に関する取組」 茅ヶ崎市が平成15年から実施している取組であるアロハビズを参考に、少しでも節電の取組になるとともに、生徒たちが、私たちの街茅ヶ崎を誇りに思い、日本と茅ヶ崎と関係の深いハワイやホノルルのことにもっと興味をもって、国際理解を深めるきっかけにもなると考え、「台中アロハデー」を設定した。6月～10月の毎週水曜日は、教職員のアロハシャツ着用を推奨するとともに、エアコン設定温度を上げることとした。							
取組テーマ	取組目標	具体的な活動内容		担当者	活動主体	取り組んだこと、その実績	1年を振り返って
省エネルギーの推進	日常の学校生活の中で省エネルギー活動を実践します。	1	節電節水を呼びかけるポスターを作る。	美術部生徒	美術部生徒 教頭	美術部が作成した節電や節水を呼びかける環境ポスターを校内のトイレ脇などに掲示した。 市の取組であるアロハビズを参考に、「台中アロハデー」を設定した。6月～10月の毎週水曜日は、教職員のアロハシャツ着用を推奨し、クールビズとともに、職員室内のエアコン設定温度を2℃上げ、省エネ対策を行った。	【取組の評価】 <input type="checkbox"/> 達成できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 環境ポスターの掲示だけにとどまり、生徒への呼びかけが不十分であったが、「台中アロハデー」の取組は、職員だけではなく、生徒への環境に対する意識の向上を図ることにつながった。 【今後の課題】 ポスター作成後の啓発活動をどのような取組にしていくかについて考える必要がある。 【次年度への引継ぎ事項】 「台中アロハデー」の継続と節電・節水の啓発活動の充実を図ること
		2	クールビズの推奨及び台中アロハデーの設定	教頭	職員		
		3	アロハシャツの推奨とともに職員室のエアコン設定温度の上昇による省エネ対策	教頭	職員		
資源・4R・廃棄物削減の取組	ごみの分別・リサイクル活動等を推進し、ごみの量を減らします。	1	制服・ジャージ等のリサイクル 卒業生に使用しない制服を寄付してもらい、在校生保護者に販売する。	保護者会・教頭	保護者	卒業生にジャージや体育館履きの寄付を募るとともに、新入生保護者説明会でジャージ、体操着、体育館履きのリサイクル商品をバザーで取り扱い、多くのリサイクル商品の販売を保護者会役員が行った。 学校連絡・情報共有サービスCOCOO(ココ)での家庭への配信により、日頃の印刷物のデジタル化を図り、紙の使用量を大幅に減らした。 学校校門付近や近隣の公民館にペットボトルキャップ回収箱を設置し、エコキャップ運動に取り組んだ。	【取組の評価】 <input checked="" type="checkbox"/> 達成できた <input type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 文書のデジタル化による資源・4R・廃棄物削減の取組としては大いに効果が見られた。 【今後の課題】 新しい制服となり、制服のリサイクルが難しい中でそれ以外の物品の寄付を募ることを検討する必要がある。 【次年度への引継ぎ事項】 引き続きココによる配信を増やしながら資源・4R・廃棄物削減に努めること
		2	プリントの裏紙の利用 ごみを減らすため裏紙を再利用する。	教頭・教職員	職員		
		3	保護者向け文書のデジタル化 紙文書を削減する。	職員	職員		
		4	エコキャップ運動 生徒や地域の方々に呼びかけを行い、エコキャップ回収に取り組む。	環境委員会	全校生徒・職員		
生きもの・みどり	植物の育成等を通して、子どもたちの自然を大切にすることを育てます。	1	花壇の手入れ 地域の方々や保護者と花の植え替えを行う。夏季休業中には生徒のボランティアを募り、水やりを行い、花を育てる。	地域の方々 保護者会・職員 生徒会	職員・ボランティア	定期的に地域の方々と体育館前及び事務室前の花壇の花を植え替えたり、保護者会の方々とロータリー周辺のプランター内の花を植え替えたりすることで、植物に囲まれた環境を整備した。また、夏季休業中には生徒に水やりボランティアを募り、休業中に水やりを実施した。 自然観察会の第1回目を6月に真鶴半島三ツ石海岸の潮だまりで海洋生物を採取し、採取した生物について講師から説明を受け、真鶴半島の自然の特徴について学んだ。第2回目では11月に茅ヶ崎市内の自然を学習する活動を実施した。里山公園や清水谷で学習し、駒寄川では講師の方やボランティアの方と一緒に水中生物を採取して、説明を受けた。事後学習では、個人新聞を作成し、校内に掲示した。	【取組の評価】 <input checked="" type="checkbox"/> 達成できた <input type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 全ての取組で目標を達成できた。 【今後の課題】 花壇やプランターへの植え替えを地域の方や保護者に頼っていることから、生徒が主体的に取り組むことができる活動を考えていくべき。 【次年度への引継ぎ事項】 これまでの取組を継続するとともに生徒の主体的な取組にすることができるよう働きかけていくこと
		2	自然観察会(海) 真鶴半島の海や山の生物の観察を行う。	1学年職員	1年生徒・職員		
		3	自然観察会(山) 里山公園・清水谷・駒寄川をグループで観察する。	1学年職員	1年生徒・職員		

●写真等の記録：活動や発表の風景等取組の記録を、必要に応じて添付してください。写真等の下に、キャプションをご記入ください。個人情報の取り扱いにご注意ください。



保護者ボランティアによる



「台中アロハデー」を行った際の校内掲示のポスター

●学校長（推進責任者）によるコメント

【学校長名】 力石 裕司

【今後の方向性について】

- ・今年度より、給食が開始されたが、現在のところ残食率が高い状況にある。給食の配膳の量を変えることはできないが、食育の時間を計画的に取り入れることにより、食べ残し等が少しでも減るような啓発を行っていきたい。今年度、株式会社明治から講師を招き、2 学年生徒を対象とした講演会を行ったが、次年度には、他学年にも広げていきたい。
- ・今年度より「台中アロハデー」を設定した教職員のアロハシャツ着用を次年度も推奨し、クールビズとともに、職員室内のエアコン設定温度を上げた省エネ対策だけではなく、生徒が使用する普通教室でも着衣の軽装等のクールビズにも活動を広げていきたい



自然観察会（海：上段）（山：下段）



生徒が作成した新聞